

夏花新聞

2018年 5月発行 第9号

NPO夏花(なつぱな)
石垣市白保158
TEL: 080-8553-8848
HP: natsupana.com

白保小中学校での環境学習

NPO夏花は毎年、白保小学校5・6年生また中学校2年生を対象に環境学習を行っています。学年に合わせて轟川の水質調査や白保海岸の赤土調査から始まり、サンゴの生態についての学習や伝統文化が残る集落内の重要文化財を散策し“暮らしとサンゴ礁との関わり”を学んでいます。そして子供達が一番楽しみにしている白保海岸でのシュノーケル体験では、シュノーケルの使い方や危険生物に関する知識を学び、白保の宝である世界最大級のアオサンゴ群集を実際に見てもらい子供達の心に大きな感動と郷土愛がより育つことを期待しています。

また中学生対象のプログラムではより知識を深めてもらうために年間を通してサンゴの成長観察などを行い、講師の指導を見る聞くだけでなく学習したことを各班でまとめて発表するという課程まで達成できました。3月4日の白保日曜日の中で「サンゴカフェ」を開き、中学生達が一般のお客様を前に学習した成果を堂々と発表しました。



白保中2年生「サンゴカフェ」で発表

ご支援ありがとうございます

設立以来、WWFより3年間の資金援助を受けていたNPO夏花ですが、2016年7月より財政面でも独立いたしました。現在大きな収入源としては“緑の地球防衛基金様”からの助成金や、大学・企業等からの研修受入費です。

また持続可能な村づくりのために、環境保全の一環で植栽したグリーンベルトの月桃の葉を利用して商品化し販売まで行う収益事業も行っていきます。しかしながら人件費をはじめ多岐にわたる事業全てをまかなうことは困難で、皆様からいただく寄付金が大変大きな支えとなっております。

今年度は“あいおいニッセイ同和損保様”“ゆうちょ銀行様”“FREE FOWLS様”“筑紫女学園大学”他個人の方からもご寄附頂きました。これらの寄付金は白保村ゆらていく憲章をもとにした活動「小中学校の環境教育」「赤土調査」「赤土流出防止対策」「こどもクラブ」「白保村の伝統文化継承」などに活用させていただいております。

白保村の地域活性、環境保全の為にこれからも皆様のご支援をよろしくお願い致します。



ゆうちょ銀行様 寄付金贈呈式

畑と海が助け合う方法って？

赤土流出防止のために、夏花では毎年グリーンベルト普及活動として月桃と糸芭蕉の植栽を行っています。この活動はサンゴを守る為に海へ赤土を流さない対策として始まりましたが、農家さんの大切な土を畑から流さないという観点からも、最近ではこの取り組みに賛同して下さる農家さんも増えてきました。

成長した月桃の葉は、夏花が商品の原材料として農家さんから買い取り「月桃茶」や「月桃ルームデオドラント」を作り販売しています。その売上はグリーンベルト植栽を始めとしたサンゴ保全活動の資金となり、サンゴ保全の為に持続可能な仕組み作りの一端を担っています。

これからもグリーンベルト活動を続けながら、“畑”と“海”がお互いに助け合うモデルを作っていきたいと思っています。



NPO夏花10月～3月主な活動

- 10月 HISツアー
白保小6サンゴ学習
白保小5レクチャー
JICA研修
日本自然環境専門学校
白保中2グリーンベルト
白保学講座
- 11月 富士ゼロックス
白保小6海実習

- 東京農大グリーンベルト
クラブメッド(1回)
赤土調査(秋)
JICA研修
保育士移住体験受入
緑の地球防衛基金記念式典出席
- 12月 クラブメッド(2回)
白保小5赤土調査体験
「ツーリズムEXPOジャパン」出展
こどもクラブ虫かご作り

- 保育士移住体験受入
- 1月 クラブメッド(7回)
白保学講座
- 2月 クラブメッド(2回)
みらいカレッジ受入
ゆらていく祭り
住民ビーチクリーン
商工生インターン受入
伊原間おっかお市研修受入
白保学講座「特別公開講座」開催

- JICA研修
- 3月 クラブメッド(4回)
法政大学受入
白保中2サンゴカフェ発表
大正大学受入
喜界島視察団受入
赤土調査(冬)
来間島視察団受入
「島に学ぶ持続可能な地域づくり交流
フォーラム」登壇

白保日曜市

これから野菜がたくさん並ぶ季節ですね～。
日曜市では白保の農家さんが作った野菜や果物を販売しています。安くて人気ですよ！
そして(多宇)まつおばあ、(宮良)ジロウおじも元気に毎週出店していますよ！
栄子おばあのアーサ汁も毎週大人気です！

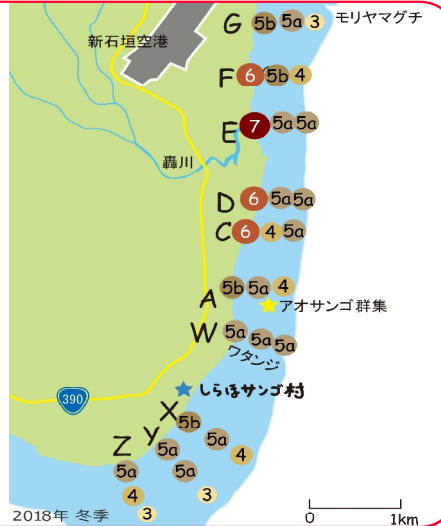
月桃商品

「月桃茶」を島内香典返し用に販売していましたが、この度一般向けに、夏花事務所やみね屋工房(石垣市)、県外ではニライカナイ(東京)、WWFパンダショップでの販売も開始しました。売上は白保のサンゴ礁保全に活用されますので、是非お買い求めください。「sarmin(ルームデオドラント)」も販売中!!

赤土調査の報告

秋(11月)冬(3月)に赤土調査を行いました。
冬の調査では轟川の河口のポイントがなんと数年ぶりに見るレベル7という良くない結果になり(5b以上はサンゴに悪影響を与える)驚いています。また北のリーフ付近のポイントも5bが並んでおり、例年の結果(レベル3～4)に比べ数値が高いことも気になります。しかし冬の長雨の影響の可能性もあり、一時的なものと考え次回の調査まで経過をみてみます。

一昨年に大白化してしまったサンゴ達も、年々復活しつつあり、枝状のサンゴなどニョキニョキ成長がみられ、安心しています。



夏花ってなあに？

NPO夏花が設立されて5年がたちます。
夏花って何してるの？WWFと別団体なの？など分からないという声が多いので、夏花設立までの経緯と活動内容をご紹介します。

2004年から白保公民館を中心に地域の次世代に何を残せば良いのか話し合いを重ね、2006年に村づくりの目標と方針、具体的な施策をまとめた「白保村ゆらていく憲章」が制定されました。この憲章を文字だけで終わらせてはいけなく「ゆらていく憲章推進委員会」が結集され、白保公民館指定文化財の整備(標識の設置)やガイドブックの作成、また「集落景観整備(フク:石垣積み)」や「白保学講座」の開催、農地の修景としてイトバショウ植栽など行いました。この活動は2009年度「沖縄県優良自治公民館等表彰」や2011年度沖縄県「沖縄ふるさと百選(集落部門)」などの受賞につながる活動として、高く評価を受けています。

その後活動の範囲を広げるために、NPO夏花を設立し「ゆらていく憲章推進委員会」の今までの活動に加え、WWFが行っていた環境教育や、「白保日曜市」の地場産業、「白保魚湧く海保全協議会」のサンゴ礁保全活動などを、他団体と協力しながら総合的に活動する現在の夏花が出来上がりました。

『現在の夏花の活動』

- 学習事業「小中学校の環境教育」「こどもクラブ」「白保学講座などの伝統文化の継承」
- 体験事業「集落散策」「サンゴ礁文化の講義」「稼業体験・民泊等の体験事業の受入」
- 保全活動「ビーチクリーン」「赤土調査」「グリーンベルト植栽」
- 地場産業「白保日曜市」「月桃加工商品」

読み物 ～もうすぐハーリー～

今年は6月17日(日)にあたる旧暦の5月4日。沖縄各所で行われるハーリーですが、白保でも毎年「白保海神祭」が開催されます。白保のハーリーは約50年前に始められ、今年1年の航海安全、豊漁の願いが込められています。石垣島では3か所で行われますが、唯一白保だけが大海原に向かって行われます。そのため、天候に左右されることも多いですが、そのぶん海の恵みと厳しさを教えてくれています。

祭ではまず、海での安全と豊漁を祈願する「祈願い(ニンガイ)」が行なわれ、続いて漁業者(海人:ウミンチュ)たちが海で舟を漕ぐ、御願(うがん)バーリーが行なわれます。昨年は暴風高波のため、御願バーリーが行えず本当に残念でしたが、ハーリー組合一同で「祈願い」だけとり行われました。

当日振る舞われるアゲブラ(魚の揚げ物)300名分は、海人の誇りにかけ1か月かけて夜の海に出かけ、なんと約500kgもの魚を調達します!また後半の舞台余興も見どころですね。

今年は日曜日にあたり、念願の東屋とトイレも完成したので、例年以上に多くの方がいらっしゃる事が予想され大変楽しみにしています。2018年はアーサーももずくも順調に始まりました。海に感謝し、今年も豊漁となることを願いハーリーに向けて準備をしたいと思えます。(関係者談)



東屋・トイレ完成

「祈願い(ニンガイ)」

【寄付のお申し込み先】
大切に活用させていただきます。

- ①郵便振り込み
口座番号: 01700-5-144439
加入者名: 特定非営利活動法人夏花
- ②クレジット決済
<http://natsupana.com/donate>
「寄付を申し込む」からどうぞ

サンゴ礁保全サポータークラブに入会して夏花を応援しませんか?

- 「夏花んちゅ」
会費: 月500円/口 (年間6000円/口)
- 「夏花んちゅミニ」
会費: 年間2000円/口

- ☆特典☆
(共通)
夏花新聞メールにてお届け
(夏花んちゅのみ)
ツアー参加時の割引
白保の特産品プレゼント(年1回)
*ご入会1年以上

【白保の皆様へ】

NPO夏花では白保村の村づくり、サンゴ礁保全活動と一緒にしてくれる方を募集しています。

- ①民泊受入家庭(稼業体験含む)の募集
農業体験やホームステイなど、白保の暮らしを体験するプログラムを実施しています。全体プログラムは夏花が運営し、その一部で参加者の方を受け入れていただきます。受入時には宿泊費等をお支払いします。民泊許可、備品は夏花が負担いたしますのでご安心ください。

②白保村の紹介をする講師の募集

サンゴ礁文化などのレクチャーや集落散策等、夏花のプログラムで講師をしてみませんか(事前に学習会があるので安心です)。主に日曜日午前中。講師料をお支払いいたします。

ご興味のある方は下記へお問合せください
080-8553-8848 (八木下・吉田)